

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																													
札幌ブライダル&ホテル観光専門学校		平成20年11月12日		武田 政司		〒 060-0042 (住所) 北海道札幌市中央区大通西9丁目1-11 (電話) 011-232-3334																													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																													
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		昼間 一彦		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151																													
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																													
衛生	衛生専門課程	ブライダルヘアメイク&ドレス科		平成26(2014)年度	-	平成27(2015)年度																													
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ブライダル業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日のブライダル業界を担う人材を養成することを目的とする。																																		
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能な資格・検定:ブライダルコーディネーター技能検定、レストランサービス技能検定 令和4(2022)年度中退率:7.0%																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																											
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間 62 単位	単位時間 27 単位	単位時間 46 単位	単位時間 6 単位	単位時間 0 単位	単位時間 10 単位																											
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)																															
120人	147人	0人		0%																															
就職等の状況	<table border="1"> <tr><td>■卒業者数(C)</td><td>64</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数(D)</td><td>26</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数(E)</td><td>14</td><td>人</td></tr> <tr><td>■地元就職者数(F)</td><td>14</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率(E/D)</td><td>54</td><td>%</td></tr> <tr><td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)</td><td>100</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C)</td><td>22</td><td>%</td></tr> <tr><td>■進学者数</td><td>37</td><td>人</td></tr> <tr><td>■その他</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・進学、就職以外:13人 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 衣装店、美容室、写真スタジオ、ブライダルジュエリー、エステ、ネイル</p>							■卒業者数(C)	64	人	■就職希望者数(D)	26	人	■就職者数(E)	14	人	■地元就職者数(F)	14	人	■就職率(E/D)	54	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	100	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	22	%	■進学者数	37	人	■その他			
■卒業者数(C)	64	人																																	
■就職希望者数(D)	26	人																																	
■就職者数(E)	14	人																																	
■地元就職者数(F)	14	人																																	
■就職率(E/D)	54	%																																	
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	100	%																																	
■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	22	%																																	
■進学者数	37	人																																	
■その他																																			
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: - 受審年月: -			無 評価結果を掲載したホームページURL: -																															
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/course/coordinator/">https://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/course/coordinator/</a>																																		
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	<p>(A: 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>89 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>6 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>18 単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>1 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>1 単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>6 単位</td></tr> </table>							総授業時数	単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間	うち必修授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間	総授業時数	89 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	6 単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	18 単位	うち必修授業時数	1 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	1 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	6 単位
総授業時数	単位時間																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間																																		
うち必修授業時数	単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間																																		
総授業時数	89 単位																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	6 単位																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	18 単位																																		
うち必修授業時数	1 単位																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	1 単位																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	6 単位																																		
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18人</td> </tr> </table>						① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	11人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	6人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1人	計	18人	<table border="1"> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td>14人</td> </tr> </table>	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	14人														
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	11人																																		
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	6人																																		
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																		
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																		
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1人																																		
計	18人																																		
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	14人																																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、ブライダル分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、ブライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
林 一馬	全米ブライダルコンサルタント協会	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	①
鈴木 綾子	創和プロジェクト株式会社	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
佐々木 瞳	株式会社美美	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
熊木 絢子	札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 副校長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
圃田 靖子	札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 教務主任	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
武山 理佳	札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 教務主任	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月21日 15:00～16:30

第2回 令和5年1月19日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

①現場を知らない生徒たちの増加について

⇒対応:インターンシップは強制ではないが、インターンシップに行きたい生徒が増えるように見学機会を増やすことを検討する。

②デジタルコミュニケーションで育っている学生の対人能力を上げる方法について

⇒対応:相手の話をかみ砕いて形にする力を高めるためにカウンセリング力を高める取り組みを検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 実践的な指導を施すにあたり、ブライダル業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。ブライダル業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。		
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 * 授業内容について(1年次後期に半年間、連携企業に指導頂き、ブライダル業界に必要なドレスデザイン、ブライダルヘアメイク技術を習得する) * 評価について(連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする)		
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
ブライダルプロジェクト I B	必須行事であるブライダルコンペティションを創り上げることを通して、花嫁のトータルコーディネートができる技術力を身につける	創和プロジェクト株式会社
花嫁着付け I A	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける	小林豊子きもの学院(株)
花嫁着付け I B	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける	小林豊子きもの学院(株)
花嫁着付け II A	A 1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す	小林豊子きもの学院(株)
花嫁着付け II B	A 1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す	小林豊子きもの学院(株)
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日のブライダル業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。 ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修 ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	ブライダル業界の現状と必要とされる人材とは	連携企業等: 一般社団法人日本ウェディングスタイリスト協会
期間:	令和4年8月19日(金)	対象: 常勤教員(13名)
内容:	ブライダル業界の歴史と現状、業界で求められる人材と採用について	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	折れそうな気持ちを再起させる	連携企業等: COCOSTYLE株式会社
期間:	令和4年9月30日(金)	対象: 担任教員(5名)
内容:	業界の魅力と仕事に対する考え方	
(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	業界が求める人材について	連携企業等: 株式会社テイクアンドギブニース
期間:	令和5年8月22日(火)	対象: 担任教員(8名)
内容:	採用したい人材、また採用後に活躍する人材について	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	性の多様性と学生への対応について	連携企業等: レインボーファミリー札幌
期間:	令和5年9月27日(水)	対象: 教職員(50名)
内容:	性の多様性を正しく理解し、業界で活躍する人材を育成するため必要な知識と考え方	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。  
 学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で作られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。

①教育環境についてより現場状況に近づけてはどうか

⇒対応:ドレスの数や種類を更に増やしていけるように、各企業様と協力して整えていく

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中村 宗人	マスダプランニング株式会社	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	企業等委員
川原 祥吾	株式会社共立メンテナンス	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	企業等委員
松田 桃香	ホテルモンテ株式会社	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/information/kankeisya.pdf>

公表時期: 令和5年8月9日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: <https://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/information/>

公表時期: 令和5年5月30日

授業科目等の概要

(衛生専門課程 ブライダルヘアメイク&ドレス科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダル知識ⅠA	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「ブライダルコーディネート技能検定」取得を目指す。	1年・前期	15	1	○			○		○		
2	○			ブライダル知識ⅠB	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「ブライダルコーディネート技能検定」取得を目指す。	1年・後期	15	1	○			○			○	
3	○			未来デザインプログラムA	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年・前期	15	1	○			○		○		
4	○			未来デザインプログラムB	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年・後期	15	1	○			○		○		
5			○	ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1年・前期	30	2	○			○			○	○
6			○	パーソナルカラー	現場で即戦力となれるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。	1年・後期	30	2	○			○			○	
7			○	キャリアデザインⅠA	就職活動の流れを理解し、エントリー方法・履歴書作成や面接方法を身につける。	1年・前期	30	2	○			○		○		
8			○	キャリアデザインⅠB	就職活動の流れを理解し、エントリー方法・履歴書作成や面接方法を身につける。	1年・後期	30	2	○			○		○		
9			○	マーケティング	必須行事であるブライダルコンペティションと連動し、ブライダル業界のニーズや動向動向について知る。	1年・後期	15	1	○			○		○		
10			○	ドレスデザインA	衣装の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会ドレススタイリスト検定取得を目指す。	1年・前期	30	2	○			○		○		
11			○	ドレスデザインB	衣装の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会ドレススタイリスト検定取得を目指す。	1年・後期	30	2	○			○		○		







40		○	ブライダルヘアアレンジⅡ	和装や洋装、年代に合わせたヘアメイクをデザインし、幅広いアレンジを学ぶ。	1年・後期	45	2		○	○				○	○	
41		○	ブライダルヘアアレンジⅢ	ブライダルのクイックチェンジやお色直しの際に行う様々なヘアチェンジに対応出来るよう、より実践的に学ぶ。	2年・前期	45	2		○	○			○			
42		○	ブライダルヘアアレンジⅣ	ブライダルのクイックチェンジやお色直しの際に行う様々なヘアチェンジに対応出来るよう、より実践的に学ぶ。	2年・後期	45	2		○	○			○			
43		○	ブライダルメイク&フォトA	ブライダルのテーマ8パターンに合わせてメイクの提案ができるようになる。	2年・前期	45	2		○	○				○		
44		○	ブライダルメイク&フォトB	撮影用メイクを学び、カメラのファインダーを通したメイクの仕上がりを学ぶ。また、学んだテクニックをアレンジし、ブライダルのフォト作品を作る。	2年・後期	45	2		○	○					○	
45		○	洋装・和装メイクA	洋装・和装の花嫁メイクの基礎から応用、列席者のメイクやボディージュエリーなどの流行まで取り入れた結婚式の幅広いメイクを学ぶ。	2年・前期	30	1		○	○			○			
46		○	洋装・和装メイクB	洋装・和装の花嫁メイクの基礎から応用、列席者のメイクやボディージュエリーなどの流行まで取り入れた結婚式の幅広いメイクを学ぶ。	2年・後期	30	1		○	○			○			
47		○	ドレススタイリングA	ドレスのデザインや装飾などを理解し、的確なフィッティングやドレスに合ったヘアメイクなどのスタイリングを考える。	2年・前期	30	1			○	○			○		
48		○	ドレススタイリングB	ドレスのデザインや装飾などを理解し、的確なフィッティングやドレスに合ったヘアメイクなどのスタイリングを考える。	2年・後期	30	1			○	○			○		
49		○	ブライダルヘアメイクⅠ	ヘアアレンジの基礎テクニックを活かし、アレンジ力技術の幅を広げる。	1年・後期	30	1		○	○			○			
50		○	ドレスフィッティング	ドレスの着せ方・ドレスショップでの新規接客の方法を学び、即戦力を身につける。	1年・後期	30	1			○	○			○		
51		○	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ	ドレスのお直し・タキシードの裾上げなどドレススタイリストの裏側の仕事を学ぶ。	1年・後期	30	1			○	○			○		
52		○	ドレスカウンセリングA	ドレススタイリストに必要なカウンセリング力、トーク力を身に付ける。	2年・前期	15	1		○				○			
53		○	ドレスカウンセリングB	ドレススタイリストに必要なカウンセリング力、トーク力を身に付ける。	2年・後期	15	1		○				○			

54		○	ドレスコーディネートA	ドレススタイリストに必要な知識を活用して、着る人の体型やTPOに合わせたコーディネートを考える。	2年・前期	30	1			○	○	○			
55		○	ドレスコーディネートB	ドレススタイリストに必要な知識を活用して、着る人の体型やTPOに合わせたコーディネートを考える。	2年・後期	30	1			○	○	○			
56		○	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ	ドレスのお直し・タキシードの裾上げなどドレススタイリストの裏側の仕事を学ぶ。	2年・前期	30	1			○	○	○			
57		○	ドレスソーイング&メンテナンスⅢ	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ、Ⅱの知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来るようになる。また、作品作りを行う。	2年・後期	30	1			○	○	○			
58		○	ブライダルヘアメイクⅡ	和装や洋装、年代に合わせたヘアメイクなど、幅広いアレンジを学ぶ。	2年・前期	30	1			○	○	○			
59		○	ブライダルヘアメイクⅢ	お色直し、メンズトータルコーディネート、列席者ヘアメイクなど、式に関わるトータルヘアメイクを学ぶ。	2年・後期	30	1			○	○	○			
60		○	インターンシップⅠ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける。	1年・後期	60	2			○	○	○	○		
61		○	インターンシップⅡ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける。	2年・前期	60	2			○	○	○	○		
62		○	インターンシップⅢ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける。	2年・後期	60	2			○	○	○	○		
合計					62 科目	89 (2025) 単位 (単位時間)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件:	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。 卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	原則として教育課程に定められている順序で履修する。 また、ブライダルビジネスマナー、フラワーアレンジ、花嫁着付けⅠA、花嫁着付けⅠB、ベーシックメイクA、ベーシックメイクB、ブライダルヘアアレンジⅠ、花嫁着付けⅡA、花嫁着付けⅡB、ブライダルヘアアレンジⅡ、インターンシップⅠ～Ⅲは必修科目としている。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。